

京都市町村体制づくり支援交付金 自己評価調書

団体名：京丹後市

1. 平成27年度 市町村体制づくりの取組について【総括表】

計画の概要等	背景	本市では、普通交付税等の合併算定替による特例措置額が平成27年度から段階的に削減され、平成32年度には、約19億円の歳入が減少する（平成27年度算定ベース）ことが見込まれる。		
	必要性	合併特例措置の通減に加え、税収の大幅な増収が見込めない厳しい財政状況であっても、限られた財源で市民満足度の更なる向上を図るとともに、持続可能な行財政運営を行うために、事務事業の効率化や職員定員の適正化、公共施設の見直しなど、歳出規模の抑制につなげる行財政改革を引き続き行う必要がある。		
	概要	第3次京丹後市行財政改革推進計画等に基づき、平成27～31年度までの5か年において、本計画による業務改革・組織改革・投資改革の取り組みを実施することにより、一層の行財政改革を推進する。また、これらの取り組みにより、各種財政指標の改善を図る。		
	効果	本計画の推進により、市民本位・市民起点の行政サービスの向上が期待できるとともに、効率的・効果的で持続可能な行財政運営を推進することができる。		
事業実施による効果について				
事業分類	事業名・実施項目	取組実績の概要	主な実績数値（出来高数値等）	事業効果（単位：人・千円等）
広域連携事業	公共交通利用促進事業	高齢者（65歳以上）が京都丹後鉄道を利用する場合、片道運賃の上限を200円とすることで、安価で便利な公共交通として利用の促進を図った。	利用者数：19,633人 （前年比4.2%減）	9,586千円
	丹後地域特産品販路開拓事業	丹後地域の2市1町が連携し、都市部での特産品等の販売及び情報・魅力の発信を行った。	購入者数：25,609人 （前年比2,697人増） 販売実績額：19,273千円 （前年比1,566千円増）	872千円
	織物業活性化推進事業	丹後ファッションウィーク開催委員会の様々な事業活動を通じて、丹後織物や産地のPR及び織物事業者の国内外の販路開拓が図られ、織物業及び関連産業の振興・発展に寄与した。	<ul style="list-style-type: none"> ・丹後織物総合展「Tango Fabric Marche」開催 （商談件数136件・成約件数24件） ・丹後テキスタイル展覧会（来場者数2,195人）、丹後織物フェア開催 ・連携作品制作 （専門学校4校と連携） ・商品開発（大学と連携） 	5,402千円